

平成16年3月期 第1四半期業績の概況(連結)

平成15年8月20日

上場会社名 南海電気鉄道株式会社

(コード番号: 9044 大・名)

(URL <http://www.nankai.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 山中 諄

問合せ先責任者 取締役経理本部経理部長 須惠 弘一

(TEL: (06) 6644-7145)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における : 有
認識の方法との相違の有無

(内容)

固定資産の減価償却の方法について中間期見込額のうち当第1四半期分を計上する等、一部簡便的な方法を採用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有

(内容)

連結(新規)0社(除外)3社 持分法(新規)0社(除外)0社

当第1四半期において日高観光(株)、(株)白浜エンタープライズは株式譲渡、南海リテールサービス(株)は会社清算により、連結の範囲から除外しております。

2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況(平成15年4月1日 ~ 平成15年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第1四半期	51,852	-	4,618	-	1,792	-	2,244	-
15年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)15年3月期	246,928		25,539		12,178		1,550	

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
16年3月期第1四半期	4	33	-	
15年3月期第1四半期	-		-	
(参考)15年3月期	2	99	-	

(注)四半期決算の開示は当第1四半期より実施しているため、前年同四半期実績および増減率につきましては記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期のわが国経済は、株式相場の持ち直しなど一部に明るい兆しがみられたものの、イラク情勢や重症急性呼吸器症候群(SARS)の影響などもあり、先行きに対する不透明感を払拭できない厳しい状況のうちに推移いたしました。このような経済情勢の下、当社グループでは各事業にわたり積極的な営業活動を展開いたしました。しかしながら、関西国際空港利用旅客の大幅減に伴う鉄道及びリムジンバス等の輸送人員減少の影響もあり、連結売上高は低調に推移し、当第1四半期の売上高は518億52百万円となりました。一方、引き続きコスト削減に努めた結果、営業利益は46億18百万円、経常利益は17億92百万円、四半期純利益は22億44百万円となりました。

(2)財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第1四半期	914,301	125,425	13.7	241.83
15年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)15年3月期	923,719	122,958	13.3	237.23

(注)四半期決算の開示は当第1四半期より実施しているため、前年同四半期実績につきましては記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は売掛金の回収や、連結子会社3社を連結の範囲から除外したこと等により平成15年3月期末と比較して94億18百万円減少する一方、株主資本は利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加により、24億66百万円増加したことから、株主資本比率は0.4%改善いたしました。

3.平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	104,000	1,000	300
通期	210,000	4,500	3,500

(参考)1株当たり予想当期純利益（通期） 6円75銭

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点において、中間期及び通期の業績予想につきましては、前回発表時（平成15年5月23日）の予想を変更しておりません。

(注)上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上